

あいの広場

10月届出分

●お誕生おめでとう（敬称略）

（出生児）	（保護者）	（公民館）
岡村大地	光司	諏訪下
H14.9.25生まれ		
市成麗来	稔	迫川内
H14.9.25生まれ		
辻花音	雅彦	大野
H14.10.1生まれ		
堂地大翔	祐作	外
H14.10.13生まれ		
宮前神威	憲一郎	外
H14.10.16生まれ		

●おくやみ申し上げます（敬称略）

（死亡者）	（届出人）	（公民館）
外室近	81 トヨ	種子田
徳永辰己	74 ヨシエ	小路下手
栗牧忠一	76 和幸	中間
谷山喬	67 イヅ子	大平

善意の灯火（10月分）

●香典返し（敬称略）

（寄付者）	（公民館）
外室トヨ（故近）	種子田
高下和典（故アキ）	東湯田原
徳永ヨシエ（故辰己）	小路下手
栗牧美和（故忠一）	中間
谷山イヅ子（故喬）	大平
一般寄付	
北野れい子	大阪府

休日在宅医

12月 8日	医師会病院（内外児）	53-0326
15日	海江田医院（外科）	53-0006
	祁答院診療所（内整理）	55-1118
22日	林田内科（内科）	53-1177
23日	木原医院（外科）	52-2700
	前畠クリニック（内婦）樋脇町	38-2125
29日	国吉内科（内科）	53-1451
30日	溝口整形外科（整形）	52-4668
	鶴田中央病院（内胃）	59-2000
31日	相良医院（内児）	53-0160

世帯数と人口

10月31日現在住民基本台帳

世帯数	1,839戸	（前月比 +0戸）
人口	5,028人	（前月比 +1人）
男	2,363人	（前月比 -1人）
女	2,665人	（前月比 +2人）



ふるさと いいとこ歩き

五幣山神崎寺とその石塔群

大角地区に神崎前とか天神前などの小字がありますが、鶴田氏が来る前から神崎寺という寺院があったのではないかと思います。

神崎寺という名称についての確証はありませんが、桓武天皇―葛原親王―高見王―高望王（平姓）―良文（村岡五郎）―忠頼―貞道―貞言―貞元となり、その子季基は、大宰府の役人となって九州に入ってきています。万寿年間に都城の島津庄を開拓しました。その子は、神崎平五大夫兼輔となっています。

兼輔―神崎平三郎兼重―成

道―神崎太郎成兼と続きますが、神前寺を創建したのは、兼輔が成兼の時代ではないかと思われるます。

そうすると、神崎寺は相当に古い時代からの寺院ということになります。

湯田城主成兼は、弟成継に譲って莫称姓となり、阿久根方面の領主となっています。

古文書によると、鶴田氏が奉持してきた五社大明神は、鶴田城内にあったと思われるますが、鶴田氏が去った後、五社大明神（五神像）は神崎寺が護つたと記されています。

一方、天文十四年に光沢威

公座元禪師が開基し、空覚上人が開山したとなっています。開山僧から文政の頃まで二十六代続いたとあります。

神崎寺に關係する石塔は、大角の満園サツ方の北側（宮之原良子所有地）に僧侶の石塔や五輪塔が多くあります。

また、上手の井上武則宅の裏に光沢威公や六地藏などが移され、大事にされています。井上氏の許しを得て裏山の石塔類を見るのは、参考になることが多いと思われます。



五幣山神崎寺の石塔群

